

各 位

会 社 名	株式会社ウィル
代 表 者 名	代表取締役 岡本 俊人 (コード番号：3241)
問 合 せ 先	取締役総務グループマネージャー
役職・氏名	栗野 泉
電 話	0797-74-7272

特別損失の計上並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 7 月 29 日付の「平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、開発分譲事業における共同開発プロジェクトの未完成物件（兵庫県西宮市）の売却価格が未確定である旨の公表をいたしておりましたが、本日開催の臨時取締役会において売却価格及び契約内容についての承認を行い、同日売買契約の締結を行いました。

これに伴い、平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の中間期及び通期の業績について、下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 8 月 8 日付の中間決算短信で公表いたしております業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成 20 年 6 月中間期の決算におきましては、本日付けで別途「（訂正）修正後発事象の発生に伴う平成 20 年 12 月期 中間決算短信の一部訂正について」の公表をいたしております。

記

1. 特別損失発生の理由及びその内容

以前より商談を進めておりました、マンション共同開発プロジェクト物件（兵庫県西宮市）の当社事業シェアを売却したことにより、「たな卸資産評価損」として 137,206 千円の特別損失が発生することとなりましたが、その詳細は次の通りであります。

この度の目的としては、共同事業主としての責任を明確にするため、当該プロジェクトに対する損失発生リスクの可能性について当初の事業シェアに基づき応分に負担することにあります。

具体的には、不動産売買契約においては、想定される当社が負担すべき最大の損失額を、現在までに要した原価金額から控除した額を売却金額として一旦精算を行い、販売委託契約においては、特約条項の規定に基づき、当該プロジェクトが完了した時点における実際のプロジェクト損益が当社の営業努力によって、想定される最大損失額よりも改善した場合には、改善額に対して応分の利益を販売報奨金により享受するものであります。

このことから、当該プロジェクトが赤字事業となった場合には 137,206 千円を上限額として応分の損失を負担することとなり、当該プロジェクトが黒字事業となった場合には応分の利益を享受することとなります。

なお、当該契約の締結時点においては最終のプロジェクト損益及び完了時期は未確定であるため、当連結会計期間においては不動産売買契約に基づいて特別損失 137,206 千円を計上するものとし、次年度以降、プロジェクト完了時点における当初事業シェアにおける最終損益と当連結会計期間に計上する特別損失との差額について、販売委託契約に基づく特別報奨金の額を特別利益として計上する見込みであります。

また、最終損益額が当社の負担すべき上限額を超える損失を計上した場合において、当社において新たに損失の追加負担が発生することはありません。

2. 平成 20 年 12 月期 通期業績予想の修正

(1) 連結 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) (単位：千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	6,445,484	66,759	34,390	11,703
今回修正予想 (B)	6,445,484	66,759	34,390	△77,736
増減額 (B-A)	0	0	0	△89,439
増減率 (%)	0	0	0	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 19 年 12 月期)	4,164,841	132,482	81,293	48,913

(2) 個別 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) (単位：千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,393,480	274	24,350	4,163
今回修正予想 (B)	5,393,480	274	24,350	△81,160
増減額 (B-A)	0	0	0	△85,323
増減率 (%)	0	0	0	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 19 年 12 月期)	3,220,997	66,041	33,539	22,569

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結

当連結会計年度の通期業績の予想につきましては、平成 20 年 7 月 29 日に公表いたしました「平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、開発分譲事業における共同開発プロジェクトの未完成物件 (兵庫県西宮市) の売却価格が未確定である旨を開示いたしておりましたが、前述の通り、不動産売買契約並びに販売代理契約の締結がなされたことにより、当連結会計年度に与える影響額が確定したため、通期業績予想の修正を行うものです。

(2) 個別

個別業績の修正理由につきましては、連結業績の修正理由と同様であります。

4. 配当予想修正の内容

	1 株当たり配当金 (円)		
	中間期末	期 末	年 間
前回発表予想 (平成 20 年 8 月 8 日)	—	2,150 円 00 銭	2,150 円 00 銭
今回修正予想	—	00 円 00 銭	00 円 00 銭
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	—	1,250 円 00 銭	1,250 円 00 銭

5. 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の最大化に向け、将来の事業拡大及び企業体質の強化のため内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な政策の一つと考え、業績に連動した配当を実施してまいることが基本方針としております。

また、1 株当たり期末配当金につきましては、業績に連動した利益配分方針のもと、当期純利益の 10% 相当額を利益配分する目標を掲げております。

しかしながら、前述の通り平成 20 年 12 月期における当社の業績は、特別損失の計上により当期純損失を見込んでおりますことから、経営体質及び財務体質の強化を図る必要性を鑑み、誠に遺憾ではございますが今期の配当を見送らせていただきたいと思います。

以上

ご注意：上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。